やこう

学校だより　令和５年度１月号

令和６年１月９日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

新しい年が明けました

校長

令和も６年目を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

１４日間の冬休み。子どもたちはどのように過ごしたでしょうか。「おはようございます」の声とともに校舎が一気に活気づいてきました。休み明けのあいさつは、冬休みの充実度に比例しているのか、元気いっぱいな子もいれば、素通りしていく子もいます。冬休みは、あいさつをする機会が多かったのではないかと思います。子どもたちはしっかりとあいさつができていたでしょうか。あいさつを交わすほんの数秒は、相手のことを想う時間です。相手のことを大事にできる人は、自分のことも大事にできる人だと思います。自分の事だけではなく、周りの人にも敬意をもって接することができる矢向っ子は素敵です。

１２月に学援隊の方をお招きし、８０周年バージョンの新しいウインドブレーカーをお渡ししました。暑い日も寒い日も雨の日も風の日も、子どもたちの安全と幸せを願っていただいていることが会話からも伝わってきます。かぶっている帽子も色あせて、奮闘ぶりが目に浮かぶようでした。その学援隊の方からは、「道を広がって歩いているから危ないと声をかけても、無視したり、ひどい場合は悪口を言ったりして通り過ぎる子もいます。」「あいさつが帰ってこないこともあります。」というお話も聞かれました。

「ほんの一言で、心を壊す武器にもなり、ほんの一言で心を開く鍵になる」という言葉を聞きました。感謝の気持ちを伝えるのも、「元気かな」と気遣うのも「ありがとう」「おはよう」「ごきげんよう」などの一言で感じられます。その一方で、心無い一言で心は十分に傷つきます。言った本人は、何気ない言葉でも、受け取る方はたまったものではありません。「この言い方では、嫌な思いをするかも」という想像力も大事だと感じます。その一言で、元気になることも、いじめにつながる厳しい状況になることもあります。１２月はいじめ防止月間でもありました。矢向小学校では今年度のいじめ認知を７４件しています。これは決して少ない数字ではありません。小さな言い合い、けんかなど、お互いに認知することもあります。学校では、いじめを受けた側が、安心して過ごせるようになるまで、いじめをした子が繰り返さないよう対応しています。だれにとっても、安心して豊かな学校生活が送れる矢向小学校になるよう、学校だけではなく、地域、家庭、関係機関と力を合わせて、様々な場で、地域の宝である矢向小の子どもを育てていきましょう。

今年度は矢向小学校創立８０周年でいろいろなお祝い事や、矢向小のよさをみんなで考える学習が展開されています。令和６年に入り、今年度も残り３か月。それぞれの学びを、次の学年へのよいステップにつなげていきたいと思います。言葉を大切に、あたたかい人間関係をつくり、誰もが大切にされる明日も楽しみな矢向小学校になるよう「本音、本気、本物」３本の矢をもって、教職員一同、力を合わせて邁進してまいります。